

災害看護演習



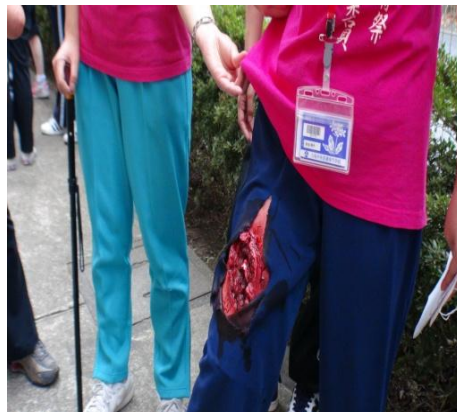
治療場所をグループで考えます。どこでトリアージする？どこに運ぶ？

声をかけあって冷静に

第二学科32期生(2年次)では、災害看護演習を7月27日・28日の2日間行いました。災害看護演習は予測不可能な災害に対する看護について、基礎的知識・技術・態度を学ぶことを目的としています。実際に国際医療研究センターで、活躍されている講師の方に災害支援医療活動の体制やトリアージ(治療の優先順位を決める事)等について講義をしていただき、その後、災害救助訓練を体験しました。救助訓練では学生全員が負傷者役や医療班役になり分けられました。割り当てられた役になりきり、パニックの中で一生懸命、判断しながら行動しました。パニックの中でも負傷者の気持ちになる事の大切さを学びました。



どんどん負傷者が来ます。



傷のメイクもとってもリアル



早く応急処置をしないと